

みんなの笑顔が
あふれる遊び場



公園整備構想

令和 5 (2023) 年 3 月
北海道広尾町



第1章 なぜ新たな公園を整備するのか

1 なぜ新たな公園を整備するのか

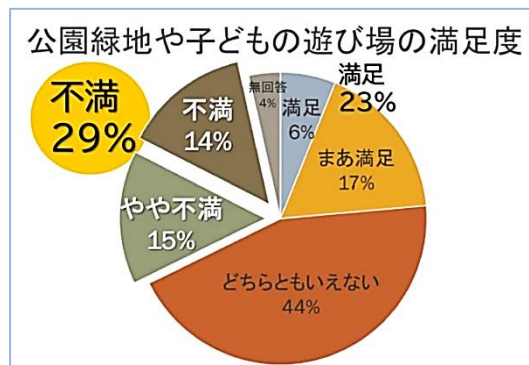
1. 町民ニーズの高まり

平成31年2月に実施した「まちづくり町民アンケート」において、「公園」や「子どもの遊び場」に対するたくさんの意見が出され、その回答内容から町民は現状の公園に満足していないことがわかりました。

平成31年2月実施「まちづくり町民アンケート」より
(主な意見)

「公園と呼ぶにふさわしい場所がない。子どもたちが、安心・安全に遊べないのは子ども軽視。また、ハード面の不自由さは、行政責任と思わざるを得ない」
「公園といっても、くつろげるようなベンチもなく、子ども達を見ているときも立っていなければならない」
「公園は小さい子だけでなく中高生、大人、お年寄りも楽しめるものを」
「子ども達が楽しむ場所、夏は公園等が狭いし遊具も少ないので虫類や更別など他の町まで車で出かけてしまう」
「見渡せて平たんな広場がない。普段、森林公園で遊ぶ子どもがどれくらいいるだろうか。遊具が大切ではないと思う。」

右のグラフは公園緑地や子どもの遊び場の町民満足度を表したもので、「満足」「まあ満足」の合計が23%、「不満」「やや不満」の合計が29%で、不満が満足を6ポイントほど上回っているという結果となりました。



2. 災害対策の充実の必要性

一方、災害対策の面では、2011年の東日本大震災、2018年の胆振東部地震など大規模災害を経験したことにより、避難所の居住性向上が求められるようになりました。さらに、新型コロナウイルス感染症のまん延によって避難所の感染対策が必要となり、感染症対策を行うための様々な資機材を購入した結果、備蓄量が増大し保管場所が手狭となる課題が発生しました。

(避難所の居住性向上のため購入した主な資機材)

ダンボールベッド、電動式ポータブルトイレ、ダンボールパーティション（間仕切り）、プラスチックパーティション（間仕切り）、ワンタッチファミリールーム（簡易テント）

3. 課題の整理

公園

子どもたちがのびのびと遊ぶことができる遊具等が充実した公園が多く町の民から求められていること。

災害対策

防災資機材を集中管理できる十分な保管スペースが必要であること。

4. 第6次広尾町まちづくり推進総合計画への登載

少子高齢化や人口減少の緩和に向け、子どもを産み育てやすい環境の整備や、将来にわたり安心して暮らすことのできる地域づくりを進めることが急務であることから、令和3年度にスタートした「第6次まちづくり推進総合計画」に「防災公園を整備する」という事業を掲載しました。

(掲載内容)

1. 防災公園を整備する。(主体：町、町民)

防災機能を有し、子どもから高齢者までが気軽に集うことができる防災公園を整備する。公園の設計（デザイン）には町民参加を募り、アスレチック遊具や噴水、ベンチ、花壇、東屋、防災倉庫などの設置を検討するなど、町民参加による公園づくりを進める。

5. 公園づくり4つの視点

公園づくりを検討する際に意識するポイントとして、下記の「4つの視点」を提示しました。

- ① 子どもから高齢者まで多世代が気軽に集い、楽しみ、くつろぐことができる公園（機能面、立地面、レイアウトなど）
- ② 子どもがのびのびと楽しめる公園（大型遊具、ボール遊びなど）
- ③ 防災機能を取り入れた公園（防災保管庫、災害時の一次集合場所など）
- ④ 将来建設予定の「観光交流施設」の併設が可能か検討する。

第2章 町民のアイデアを基にした整備ビジョンの作成

2 町民のアイデアを基にした整備ビジョンの作成

2-1 まちづくり町民みらい会議

第6次まちづくり推進総合計画の施策として位置づけている「町民参加のまちづくり推進」を進めるうえで、町民がまちづくりの主役として行動する意識を持ち、積極的にまちづくりに関わってもらうことを目的として、まちづくりの課題解決や新たな施設整備などに向けての検討を行う際に町民がまちづくりについて日頃思っていることや課題解決に向けたアイデアなどを話し合う場としての「まちづくり町民みらい会議」を令和3年度に新たに設置しました。

<令和3年度テーマ>

「みんなが楽しめる新たな公園づくり」

まちづくり計画でも前期5年間で新たな公園の整備に取り組むこととしており、公園の役割や機能などについて町民からの意見・アイデアを聞いて進めることが必要であることから、「公園づくり」をテーマとしました。

<参加者の募集>

10代から70代までの年代別に無作為抽選で選んだ町民1,000人に案内文書を送付し、希望者から申し込みを受け付けました。なお、抽出から漏れた町民についても、希望者は参加できることとしました。

<参加者>

20人(男性8人、女性12人)
※町民18人＋地域おこし協力隊2人
20代2人・30代8人・40代6人・50代2人
60代1人・70代1人

<会議>

第1回: 令和3年11月24日(16人参加)
第2回: 令和4年 2月21日(15人参加)

第1回「こんな公園あったらいいな」

- 新たな公園づくりに至った経過
- 近年の公園整備事例紹介
- ワークショップ(広尾町に欲しい公園について意見交換)
- 発表

<主な意見など>

- ・子どもが安全に使えるきれいなトイレは絶対に必要。
- ・幅広い年齢層が楽しめる場所にしたい。
- ・水遊び・アスレチック、スケートボード、築山、そり滑り
散歩道など いろいろな機能が欲しい。
- ・他の町にない「広尾らしさ」に配慮した公園づくりが必要
- ・雨の日や冬でも遊べる屋内施設が欲しい。
- ・安心して子どもに水遊びをさせられる場所が欲しい。

第2回「わが班はこんな公園をつくりたい！」

- 新たな公園整備候補地についての説明
- ワークショップ
 - ・公園づくりのテーマ、キャッチフレーズを考えよう

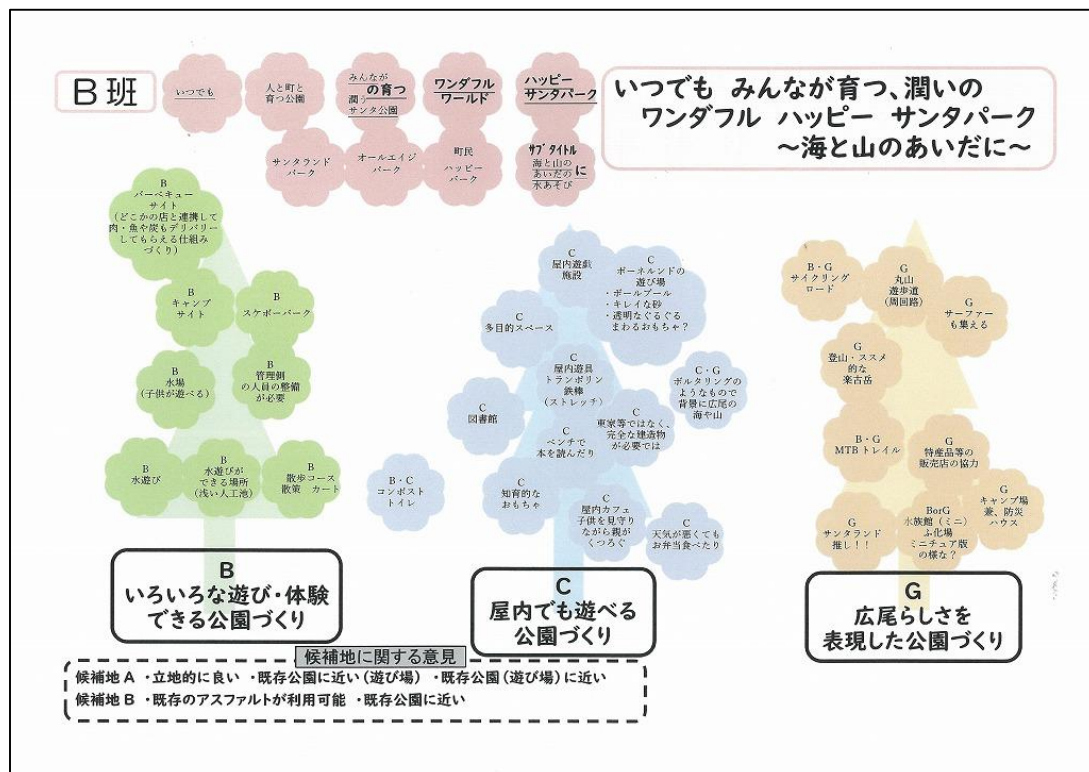
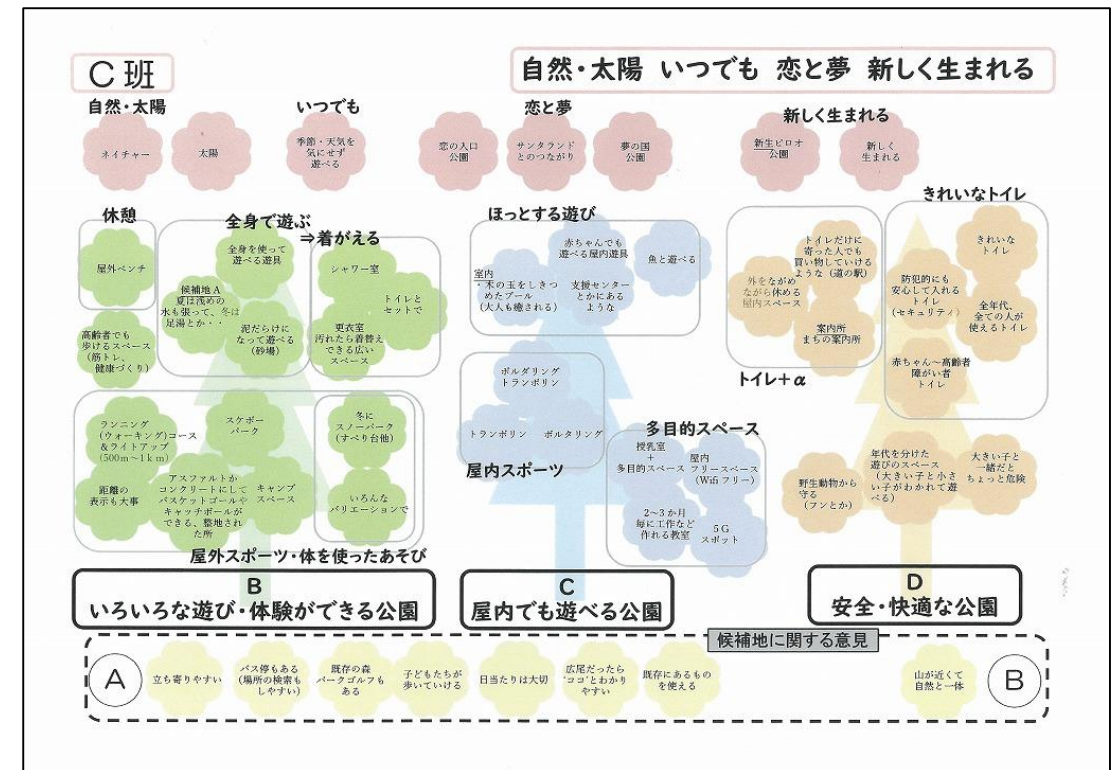
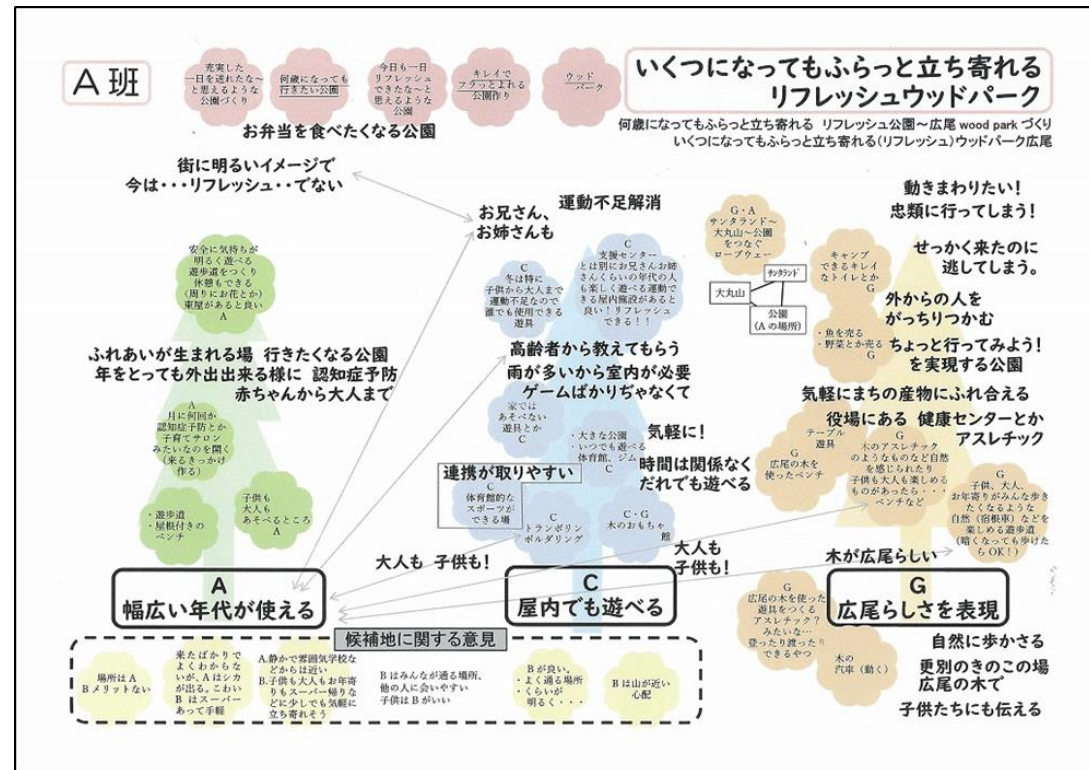
<公園づくりのテーマ(案)>

- A. 幅広い年齢が使える公園づくり
- B. いろんな遊び・体験ができる公園づくり
- C. 屋内でも遊べる公園づくり
- D. 安全・快適な公園づくり
- E. 防災に配慮した公園づくり
- F. 交流・情報発信できる公園づくり
- G. 広尾らしさを表現した公園づくり

- 発表(各班ごとの成果品は次ページに掲載)

第2章 町民のアイデアを基にした整備ビジョンの作成

＜第2回会議での各班の意見まとめ＞



＜参加者からの感想＞

- ・一人一人の想いが詰まった話し合いだったと思います。
- ・立場や立ち位置の異なる様々な人たちの考えや意見が聞けて楽しかったです。
- ・候補地を見てだんだん具体的になってきました。イメージがふくらんできて、公園ができていくのがより楽しみになりました。
- ・小学生、中学生、高校生など子どもの意見を聞ける場があればいいと思います。

2-2 候補地の決定

1. 候補地の比較検討経過

広尾町は、(仮称)防災公園の整備候補地を2か所に絞り、役場職員で構成する「公園整備検討委員会」、無作為抽出で集めた町民による「まちづくり町民みらい会議」、「まちづくり推進計画委員会」に検討資料や航空写真を示し、職員や参加者、委員から意見を聞きました。

<候補地>

候補地A……鉄道記念公園隣接地

候補地B……旧町立病院・旧自動車学校跡地

「(仮称)防災公園の整備に係る候補地の選定について(検討資料)」・・7P

<意見集約経過>

- ①令和4年2月 2日 第1回公園整備検討委員会(職員10名出席)
- ②令和4年2月21日 第2回まちづくり町民みらい会議(町民15名出席)
- ③令和4年2月28日 第2回まちづくり推進計画委員会(委員16名出席)

2. 候補地の決定

町民や職員から出された意見を踏まえ、令和4年3月2日に主管者会議を開催し、候補地を「**Aの鉄道記念公園隣接地とする**」ことを決定しました。

3. 候補地決定の理由

<位置の優位性>

候補地Aは、市街地の居住地域のほぼ真ん中に位置し、半径500m以内に学校や保育園、医療福祉施設、郵便局、警察、バス待合所、体育館、スーパーマーケットが集積し、幅広い年齢層が徒歩で集まりやすい場所に位置している。

候補地Bは中心地から若干ずれるため、あらゆる方向からの徒歩での集まりやすさでは候補地Aに劣る。

<観光交流施設を併設する場合のメリット>

将来的に「観光交流施設」を併設すると想定した場合、候補地Aは国道に近く町外客を誘導しやすいメリットがある。一方で袋地になっていることから、どの方向からも敷地内に入りにくいというデメリットもあるが、隣接する民有地を取得することで土地の有効活用が図られる。

候補地Bは国道から距離があり、観光施設としては適さない。

<防災拠点としての優位性>

災害発生時に周辺地域から徒歩で集まりやすく、また、他の避難施設と距離的に近いので、候補地Aの方が防災拠点としての優位性が高い。

4. 総括

候補地A・Bともに、市街地の中心にある、まとまった面積の町有地であり、規模の大きい公園を整備することが可能な土地ではあるが、将来のまちづくりを考えたときに、町民が安心して暮らし続けることができる「徒歩で移動可能なコンパクトなまち」、高規格道路の開通を見据えた「サントランド(大丸山森林公園)へ向かう途中に位置する町外から訪れる人にもわかりやすい場所」、また、防災拠点としての「周辺施設(学校など大規模避難施設や保育園、福祉施設など)との距離の近さ」など、候補地Aの方が総合的に優位性が高いと判断しました。

候補地Bは整形の町有地であり、面積も広いことから、病院や学校など、将来の公共施設の建替用地として確保しておく必要があると考えます。

新たな公園を候補地Aに整備することにより、子どもから高齢者まで幅広い年代が気軽に集い、日常的にくつろいだり楽しんだりでき、町外から訪れる人とも交流を図る場所とすることができます。

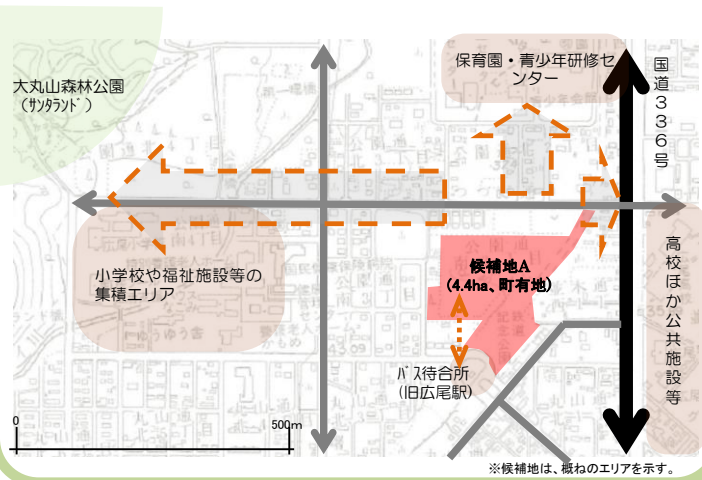
この公園が中心市街地の賑わいを創出し、多くの町民に愛される“拠点”となることをめざします。

『（仮称）防災公園』の整備に係る候補地の選定について（検討資料）～

【候補地A】『鉄道記念公園隣接地』

―土地の概要―

- ・旧広尾駅（現バス待合所）の北側に隣接する敷地。
- ・現在は、樹林地ほかパークゴルフ場としても利用している。
- ・国道336号から近く、小・中・高校、保育園が徒歩圏内にある。
- ・大丸山森林公園（サントラッド）への導入部に位置している

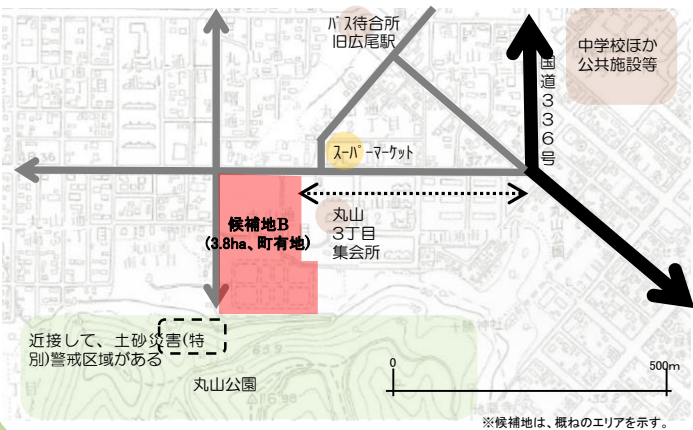


※候補地は、概ねのエリアを示す。

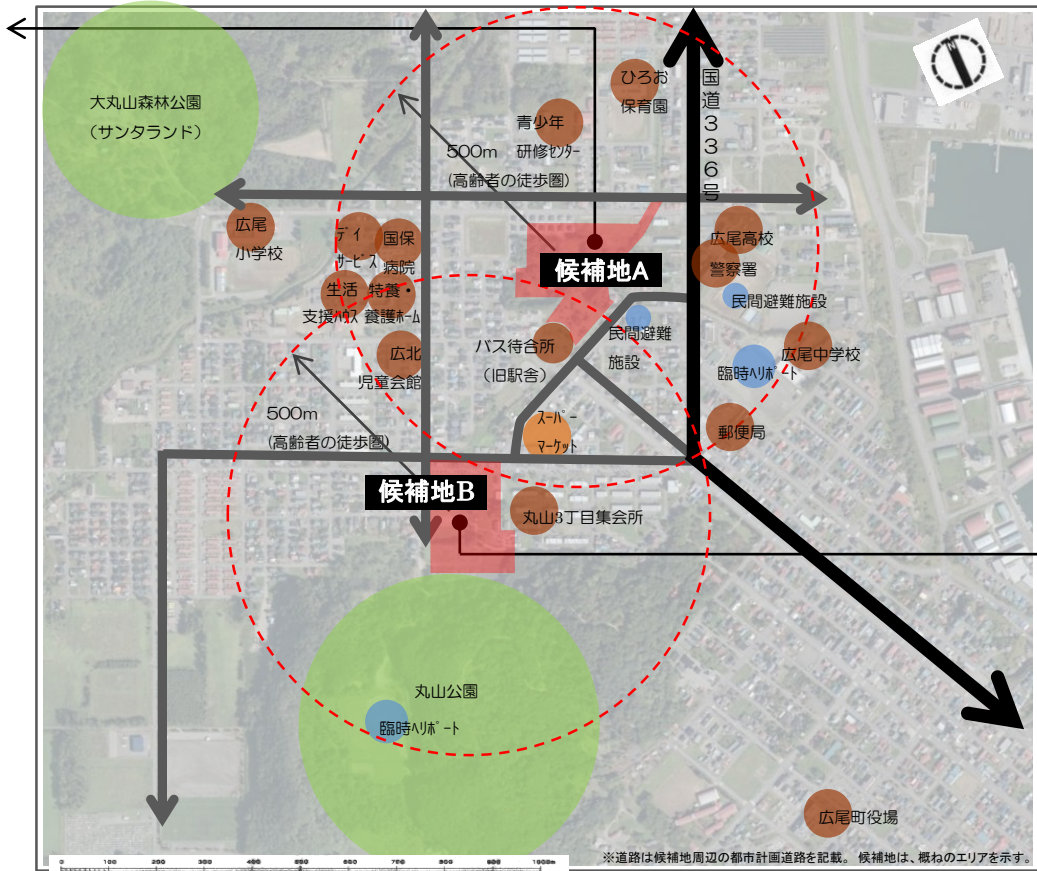
【候補地B】『旧町立病院・旧自動車学校跡地』

―土地の概要―

- ・旧町立病院・旧自動車学校跡地。
- ・現在は、堆雪場として利用している。
- ・国道336号から若干距離がある。
- ・背後の丘陵地により日照が遮られる。また、一部は土砂災害（特別）警戒区域と近接している。



※候補地は、概ねのエリアを示す。

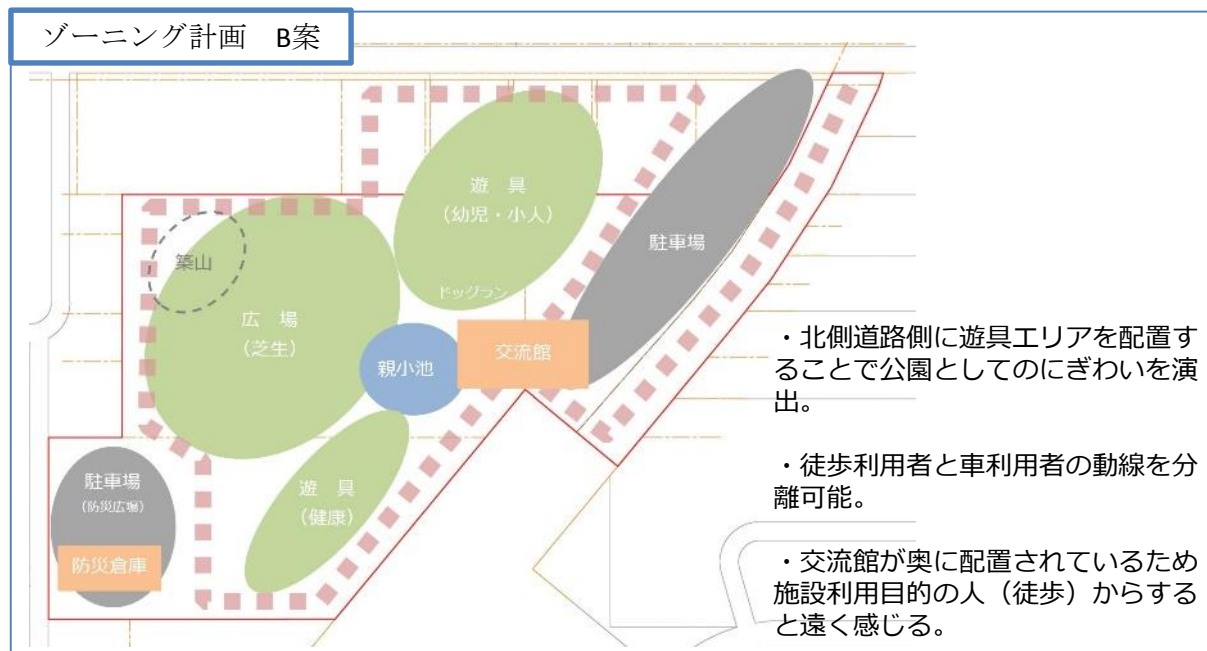
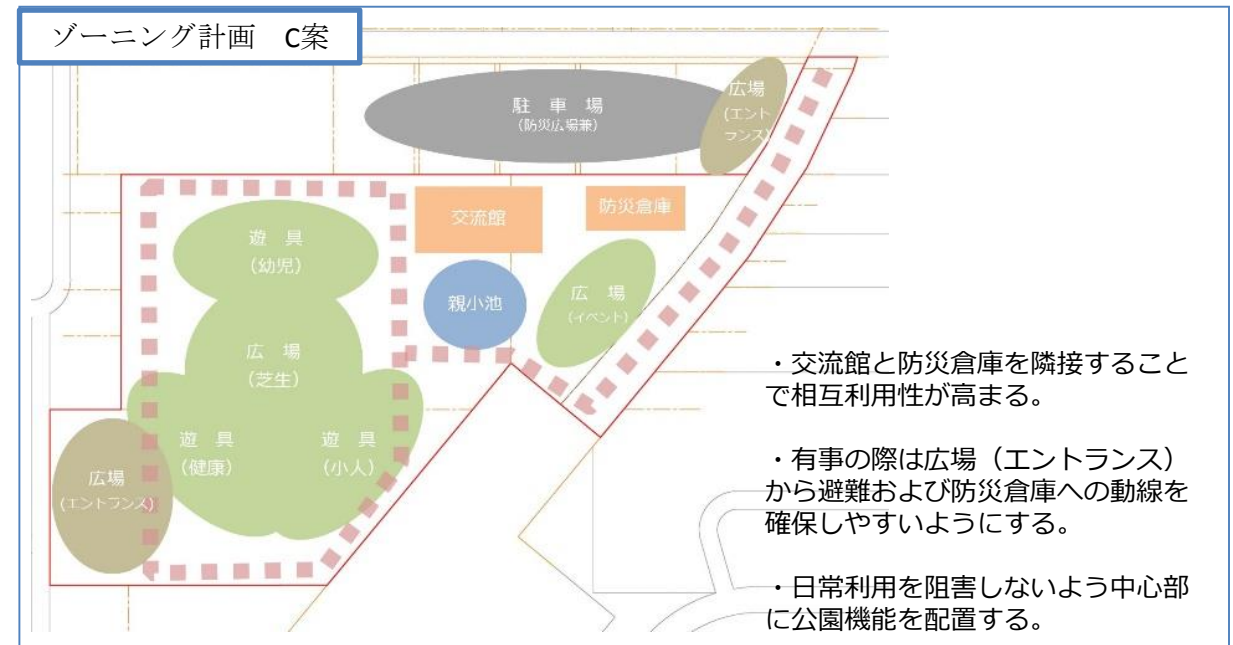
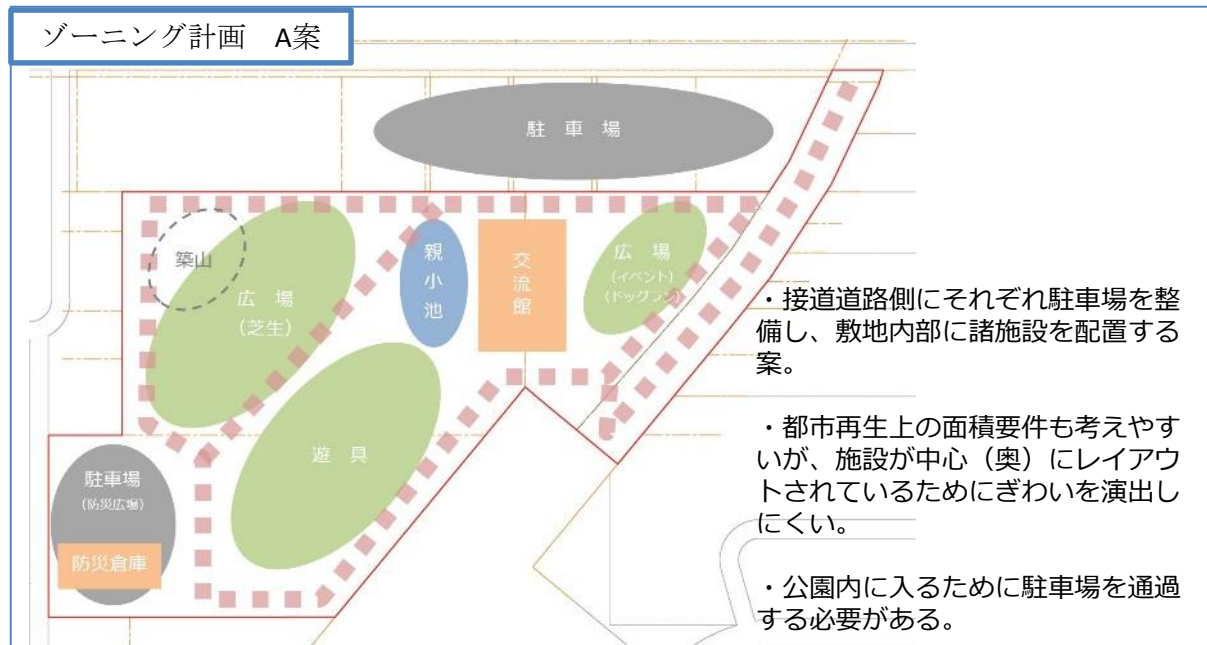


※道路は候補地周辺の都市計画道路を記載。候補地は、概ねのエリアを示す。

候補地ごとの項目別比較

目 項		候補地A 鉄道記念公園隣接地	候補地B 旧町立病院・旧自動車学校跡地
基礎的事項		■面積：約4.4ha（町有地。うち約2.8haはR3年12月に寄付） ■用途地域：準工業地域 ■現況土地利用：樹林地及びパークゴルフ場 ■接道状況（都市計画道路）：北側～つつじ通（整備済16m）	■面積：約3.8ha（町有地） ■用途地域：第2種住居地域 ■現況土地利用：空き地。冬期間は堆雪場として利用 ■接道状況（都市計画道路）：北側～丸山通（整備済16m） 西側～公園通線（未整備、現道6m）
敷地条件	形状	・非整形の用地である（効果的な土地利用に向けた隣接地の取得について検討が必要）。	・ほぼ整形の用地である。
	日当たり	・日照に関する特段の阻害要因はみられない。	・丘陵地（丸山公園）の北側に位置しているため、陽のあたらない時間が多い。
	その他 着眼点	・既存の地形・起伏を活かした公園づくりが可能。	・概ね平坦な角地に位置する用地であり、自由度の高い土地利用が可能。

2-3 公園整備構想（案）たたき台の作成



整備予定地（2022年6月6日撮影）

2-4 公園整備検討委員会

第6次まちづくり推進総合計画に登載された新たな公園整備に加え、既存の公園・緑地を含めた広尾町全体の公園機能や管理のあり方について、分野を横断して幅広く検討・協議することを目的として、役場職員による公園整備検討委員会を設置しました。

＜委員会の概要＞

○役割

(1)新たな公園整備に係る基本的事項(整備場所、施設及び設備の機能、施設の配置など)に関すること。

(2)町内の公園・緑地の機能や管理のあり方に関すること。

○委員

課長・課長補佐・係長職 12人

＜会議の開催状況＞

第1回（令和4年2月2日） ※出席委員：10人

○正副委員長の決定

○新たな公園整備について

- ・公園づくりに取り組みに至った経緯
- ・公園整備の候補地について、2グループでのワークショップ形式で意見交換
- ・今後のスケジュールについて

＜候補地に係る主な意見＞

候補地A

- ・小学校に近いのがよい。 ・民有地の確保ができればよい。
- ・まちの拠点(大丸山森林公園、教育施設など)が近い。

候補地B

- ・国道から遠く、人を呼び込めないのでは。 ・土砂災害警戒区域が近い。

共通

- ・野生動物や騒音、交通量増加の対策が必要。

第2回（令和4年6月24日） ※出席委員：12人

○公園整備に係る今後のスケジュールについて

○公園整備構想案(たたき台)の検討について

- ・レイアウトA・B・C案について、2グループでのワークショップ形式で意見交換

＜主な意見など＞

- ・A案～遊具が集中しているので、子どもへの目が届きやすい。
- ・B案～公園の様子が道路からわかりやすくてよい。
- ・C案～交流館と防災倉庫が近く、防災公園として使いやすい。

第3回（令和4年9月16日） ※出席委員：10人

○コンセプト、キャッチフレーズの検討について

○公園レイアウト案の検討について

- ・2グループでのワークショップ形式で意見交換

＜主な意見など＞

- ・子ども用のバスケットゴールが別にあった方がよい。
- ・3on3スペースの位置を変更した方がよい。
- ・遊具の見守りスペースのベンチを増やした方がよい。
- ・ドッグランスペースの形状は四角の方がよい。

第4回（令和4年12月19日） ※出席委員：11人

○公園整備構想案について

- ・構想案の変更点や事業スケジュール、概算事業費、町民交流施設の概要について説明し、2グループでのワークショップ形式で主に「町民交流施設」について意見交換を行った。

＜主な意見など＞

- ・保護者の見守りスペースや管理人の常駐などを考慮すると、施設の面積が少し狭いのではないかと。快適に使えるような必要面積を確保すべき。
- ・中高生が集まれる場所が町内にないので、この機会に整備してはどうか。

第3章 町民の意見を整備構想案に反映

3 町民の意見を整備構想案に反映

3－1 公園整備構想策定の経過

〈令和3年〉					
11月	24日	第1回広尾町まちづくり町民みらい会議			
〈令和4年〉					
1月	31日	令和4年第1回議員協議会	8月	28～	新たな公園整備構想（たたき台）町民説明会
2月	2日	第1回公園整備検討委員会		29日	※ 説明会参加者へ公園機能アンケート実施
2月	21日	第2回広尾町まちづくり町民みらい会議	8～9月		小学生、教員などに対する遊具アンケート
2月	28日	令和3年度第2回広尾町まちづくり推進計画委員会	9月	5日	広尾高校生3年生との意見交換会（第2回）
3月	2日	主管者会議（候補地の決定）	9月	16日	広尾高校生3年生との意見交換会（第3回）
3月	7日	令和4年第3回議員協議会			第3回公園整備検討委員会
6月	7日	令和4年第6回議員協議会	10月	14日	主管者会議（整備構想原案の決定）
6月	24日	第2回公園整備検討委員会	10月	17日	令和4年第11回議員協議会
7月	8日	保育園・小学生の保護者に対するアンケート実施	10月	25日	新たな公園整備構想説明会（みらい会議参加者向け）
7月	19日	広尾高校生3年生との意見交換会（第1回）	11月	24日	令和4年度第1回広尾町まちづくり推進計画委員会
7～8月		広尾中学校全生徒へ公園機能アンケート実施	12月	6日	令和4年第15回議員協議会
8月	3日	総務常任委員会 所管事務調査	12月	19日	第4回公園整備検討委員会
8月	16日	令和4年第8回議員協議会	12月	22日	主管者会議（整備構想の決定）



3-2 広尾高校3年生との意見交換会（全3回）

広尾高校の選択科目である家庭科で「子どもの発達と保育」を学んでいることから、子どもの遊び場である公園について高校生の視点による意見を聞くため、同校の家庭科を選択する3年生11名との意見交換会を3回実施しました。

<意見交換会の開催状況>

第1回（令和4年7月19日）

○みんなが楽しめる新しい公園づくり

・公園づくりに取り組みに至った経緯について説明

○まちづくり町民みらい会議の結果（A班～C班）

○ワークショップ意見の確認と整備方針

○ゾーニング計画（A案～C案）

※ 夏休み中に「公園機能20選アンケート」を記入してもらい、後日提出してもらうよう依頼した。

第2回（令和4年9月5日）

○公園整備構想案（たたき台）の検討について

・レイアウトA・B・C案について、2グループで意見交換

<主な意見など>

（A案）トイレを2箇所にした方が良い。

（B案）（幼児と児童のエリアが分かれているので）兄弟で遊ぶ場合、親の目が届きにくい。

（C案）西側エントランス広場の南側にも駐車エリアが必要では。

（A案・C案共通）

・C案をベースに中央にメイン通路を設けたA案との折衷案ではどうか。

・子どもや高齢者に迷惑を掛けずに安心して体を動かして遊べる広いスペースが必要では。

・ストリートスポーツ広場を駐車場とは別の広い場所にした方が良い。

・ストリートスポーツ広場でバスケができれば高校生が集まる。スケートボードをできるようにすれば、町外からも人を呼び込める。

・ストリートスポーツは安全な場所がきちんとあれば、利用すると思う。

・バスケットやスケートボードは遊具と同じ感覚。

- ・壁に絵が描かれていたり、自分で描けたりする「映えスポット」を作り、公園全体がアート空間になるようなイメージで。
- ・スリルのあるアスレチック遊具（山の上からターザンロープで降りるなど）が欲しい。
- ・常に園内に音楽（BGM）が流れていると良い。
- ・公園内にフリーWi-Fiが欲しい。
- ・他のまちにない巨大な滑り台（ロングスライダー）があれば、高校生や大人も楽しめる。
- ・カフェがあれば、アイスやジュース、コーヒーなどを園内で（屋外で）食べたり飲んだりできて良い。
- ・吹奏楽のコンサートや文化祭、イベントを開催できればうれしい。
- ・築山を利用したアスレチック的遊具や大型の滑り台があると良い。
- ・学校帰りに気軽に立ち寄り、話ができるスペースがあるといい。

第3回（令和4年9月16日）

○公園整備構想（たたき台）について

・レイアウト最終案について説明

○キャッチフレーズの検討

・2グループに分かれて検討

<出されたキャッチフレーズの案>

- ・Love&Dream ・ワンダフル・パーク ・サンライズ
- ・笑顔あふれ 愛される みんなの居場所 ・サンタの贈り物
- ・人生とともに… ・楽園 ・サンタの庭



3－3 新たな公園整備構想（たたき台）町民説明会

公園整備構想のたたき台に対し、町民の意見を幅広く聞くための説明会を2日間(延べ3回)開催しました。また、令和3年度のまちづくり町民みらい会議メンバーにも参加を呼びかけ、別日程で説明会を開催しました。

＜説明会の開催状況＞

- 第1回(令和4年8月28日 午後2時～) ※参加者15名
- 第2回(令和4年8月29日 午後1時半～) ※参加者 8名
- 第3回(令和4年8月29日 午後6時半～) ※参加者 7名

＜主な意見など＞

【コンセプトについて】

- ・防災の主な機能はなに？(倉庫？一時避難場所？)どうして必要なの？
- ・多世代が交流する場所は、遊具で遊ぶだけじゃない。
- ・自然の中で癒しを感じられる場所。
- ・町民の中だけで暮らしやすいことは大切だけれども外から広尾町に“住みたいな”と思っていただける人”、“考えている人”にウエルカムと積極的に発信できる場所として大切だと思う。
- ・町が存続する為にも、現在住んでいる人が生き活きと暮らし、自分達が住んでいる町は面白い町だと認識できるきっかけにもなるのでは？今までにはない公園として、交流機能は重要と思う。
- ・公園は景観として「美しい公園」でないと大人は楽しめない。公園は気持ちがよく、幸せを感じられる・人間の心が休まる公園であってほしい。
- ・中学生、高校生、若い世代が家や学校以外で気持ち良く過ごせる場所が大切。(社会に)入り込める場所となってほしい。

【遊具について】

- ・既存の遊具は少なく飽きる。既存の遊具と違う遊具を設置してほしい。
- ・大きい遊具だけ導入すると密になる。(みんなが集まり)小さい子が遊べないので、数(遊具)を増やしてバランスを良くしてほしい。
- ・年配者が集まれる場所が必要ではないか。子どもの遊具だけでなく高齢者が使える器具も必要ではないか。

- ・いい遊具が導入されれば、高学年が独占しないように、低学年も安全に遊べるようにしてほしい。
- ・遊具の種類を考えるだけでなく子ども達が遊ぶなら、どういう場所が良いのか？活発に体を動かす子どもだけではない。木陰で本を読んだりする文化的で情緒性のある子どももいる。
- ・遊具ありきではなく、どうしたら大人も子どもも喜ぶのかみんな考えてほしい。
- ・新丸山公園は、遊具があるわけではない。木が植わっていてベンチがあって自分のお庭のように安らぐ、癒される。木は雑木(今ある木ではなく)だけではなく、人工的に植えて居心地の良い・癒される自然が大切。景観が大切となる。
- ・遊具が真ん中に集中すると、公園としての景観に支障をきたすのではないか。
- ・単純な公園でいい。遊具をいっぱい並べる必要がない。
- ・遊具はほしい。神社公園で遊んでいる子どもがかawaiiそう。
- ・たくさんあれば良いわけではない。自然があれば良いという事ではない。
- ・遊具にこだわるだけではなく、維持管理も考えては？

【広尾らしさとは】

- ・海を利用できないのか。
- ・海洋博物館を利用できないか。(広尾の歴史紹介など)
- ・サンタランドにこだわりを持っては。
- ・サンタランドのキャラクターを利用する。(花畑・案内看板)
- ・サンタランドのストーリーを持ってはどうか。
- ・船があればいい。船のイメージの遊具を検討しては。
- ・広尾は海、山(山林)、酪農のイメージ。
- ・エリア分けをして池付近⇒海、築山付近⇒山林、癒し空間⇒牧草などエリア分け(スポット的に)をして、表現しては。
- ・池をお魚の形にしては。
- ・海岸の石で絵をかいて、モニュメントとしては。

【公園全般について】

- ・暑い日にはプール(水遊び)をしたい。木陰がほしい。水遊びの場は衛生的にしてほしい。
- ・人工池の衛生面、管理をきちんとしてほしい。使用期間は？
- ・広尾の池は手入れが悪い。蚊が発生しやすい、落ち葉など。
- ・池もいいけれど蚊だとかカエルが増加するので、衛生面に配慮してほしい。
- ・観光客が立ち寄れる場所や休める場所も必要ではないか。大型バスが止まれる場所には、きれいなトイレが必要。
- ・観光交流施設に重きを置いてほしい。(力を入れてほしい。)
- ・広尾町の人口が減っている。立派な公園を作っても利用されるのか？それよりも、外から人を呼び込むこむ魅力のある施設にしてほしい。海洋博物館の資料を使って、広尾の歴史を紹介するなど。
- ・町外の人がちょっと(気軽に)寄れる場所にしてほしい。スペースがないのであれば、資機材保管庫は青少年研修センターなど他の施設を活用して、スペースを確保してはどうか。町外の人に来てもらって、見る物(施設)があることに力を入れてほしい。
- ・防犯のため、綺麗で明るい公園に。災害時に人であふれないように。
- ・イス、四阿はすべて防災機能つきか？
- ・シカ、小動物 対策をしてほしい。
- ・高齢者が邪魔にならない配置にしてほしい。
- ・公園の時間制限はあるのか？公園全体の管理方法は？
- ・こぶしの花があるので残してほしい
- ・木を植えて計画的に木陰を作ることが大切。(デザイン)
- ・総合体育館も考えながら、倉庫を建設してはどうか。
- ・全世代をターゲットにすると中途半端な公園になるのでは？
- ・築山、池、芝生、道路(マラソンコース、散策路)
- ・自然は人間の管理(手を加えること)が入ってない状態を自然と呼んで、自然をいいと言っている訳ではない。自然の定義を確認した方がいい。
- ・中途半端な施設はいらない。
- ・中高生徒が安全に遊べる場所、子どもも遊べる場所、築山も冬に遊べる場所など、一つ一つをしっかりと作ってほしい。
- ・トイレはきれいであってほしい。

まちづくり町民みらい会議メンバー

(令和4年10月25日 午後6時半～) ※参加者4名

＜主な意見など＞

- ・自動販売機を設置した方が良い。
- ・トイレが1か所では少ないのでは。
- ・公園の維持管理はどのような形で行うのか。
- ・費用はどれくらいかかるのか。
- ・公園内の照明が少ないのではないかな。
- ・水遊び場の水は循環するのか。
- ・スケボーエリアのようなコンクリート地で子どもが遊べるような場所があれば。
- ・この公園ができれば、忠類や更別に行かなくてもよくなる。



新たな公園整備構想 町民説明会

広尾町では、防災機能を有し、子どもから高齢者までが気軽に集うことができる新たな公園の整備検討を現在進めています。昨年の「まちづくり町民みらい会議」での意見などを踏まえて作成した公園整備構想(レイアウト)案のたたき台について説明会を開催しますので、公園づくりに関心のある皆さんのご意見をお聞かせください。

日程

- | | |
|----------------------|-----------|
| (1) 8月28日(日) 午後2時 | コミセン大ホール |
| (2) 8月28日(日) 午後6時30分 | コミセン大ホール |
| (3) 8月29日(月) 午後1時30分 | コミセン第2会議室 |
| (4) 8月29日(月) 午後6時30分 | コミセン大ホール |

※説明内容はいずれも同じです。ご都合の良い日・時間に参加ください。

＜参加申し込み＞

8月24日(水)までに、裏面申込書で下記担当までお申し込みください。なお、申し込みが少ない回については、開催しないこともありますので、ご了承ください。

公園のレイアウト(配置)、
橋、遊具の種類など、
意見を聞かせてください。

＜申込・お問い合わせ＞

広尾町役場企画課企画防災係
・電話 2-0184 ・FAX 2-4933
・E-mail k-kikaku@town.hiroo.lg.jp

3-4 公園機能アンケート 「公園機能20選」

1. アンケートの目的

町民の皆さんが新たな公園に望む機能を把握するため、アンケートを実施しました。

2. アンケートの実施方法

＜配布先・回答＞

- ①広尾中学校全校生徒 配布:119人 回答:117人
- ②新たな公園整備構想町民説明会参加者 配布: 30人 回答: 30人
- ③広尾高校(家庭科) 配布: 11人 回答: 11人

＜内容＞

公園の機能20選の中から、大事にしたい・公園に望む機能を5つを選択する。

3. アンケートの結果

＜一般町民＞

- 1位 いつでもトイレがきれいな公園
- 2位 のんびり休める心地良い公園(ベンチ、休憩スペース)
- 3位 散策できる園内通路がある公園
- 4位 みんなが愛着を持ち、きれいに使い続ける公園
(ゴミ拾いや清掃などをボランティアで)
- 5位 外でお弁当を食べたくなる公園

＜中学生・高校生＞

- 1位 運動不足解消！スポーツやアスレチックが楽しめる公園(バスケットボール、スケートボードなど)
- 2位 いつでもトイレがきれいな公園
- 3位 室内で休んだり、飲食や買い物を楽しむことができる公園
- 4位 水遊び場があり、真夏でも外で遊べる公園
- 5位 のんびり休める心地良い公園(ベンチ、休憩スペース)

公園機能アンケート「公園機能20選」

問1

公園機能20選
この中で大事にしたい公園機能は？

あなたが大事にしたいと思う機能を5つまで選んでください

- 1 シートを敷いてくつろげる広い芝生がある公園
- 2 犬を伸び伸びと遊ばせるドッグランがある公園
- 3 散策ができる園内通路がある公園
- 4 いつでもトイレがきれいな公園
- 5 見晴しの良い小高い丘(築山)がある公園 ※冬はソリ滑りができる
- 6 幼児から高齢者まで、年代別に楽しめる遊具がある公園
- 7 運動不足解消！スポーツやアスレチックが楽しめる公園(バスケットボール、スケートボードなど)
- 8 のんびり休める心地良い公園(ベンチ、休憩スペース)
- 9 野生動物(シカやキツネ)が入ってきづらい公園
- 10 水遊び場があり、真夏でも外で遊べる公園
- 11 車でも、徒歩でも行きやすい公園(広い駐車場、徒歩での複数の入口)
- 12 木陰がある公園
- 13 室内で休んだり、飲食や買い物を楽しむことができる公園
- 14 雨の日でも遊べる室内遊具場がある公園
- 15 きれいな花を楽しむ花壇のある公園
- 16 屋外イベントができる公園
- 17 キャンプやバーベキューができる公園
- 18 外でお弁当を食べたくなる公園
- 19 広尾らしさ(サンタランド、サーファーが集うなど)にあふれる公園
- 20 みんなが愛着を持ち、きれいに使い続ける公園(ゴミ拾いや清掃などをボランティアで)

上記1～20のうち、5つまでを選んで下枠に番号を記入

3-5 公園満足度に関するアンケート

1. アンケートの目的

町の「公園緑地」や「子どもの遊び場の整備状況」について、町民の皆さんの意見を把握するため、ひろお保育園・豊似保育所・広尾小学校・豊似小学校の保護者及び子育て支援センターの利用者を対象にアンケートを実施しました。

2. アンケートの実施方法

＜配布先・回答＞

①広尾小学校	配布:152世帯 回答:62世帯
②豊似小学校	配布: 22世帯 回答:12世帯
③ひろお保育園	配布:110世帯 回答:67世帯
④豊似保育所	配布: 14世帯 回答:10世帯
⑤子育て支援センター	コロナ禍のため回答なし

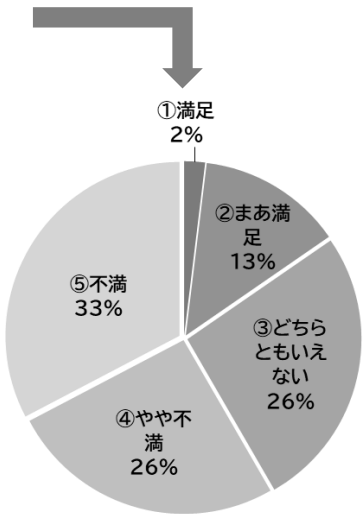
3. アンケートの結果

(1)公園緑地や子どもの遊び場の整備状況について満足していますか。

- ・満足している＋まあ満足している 15%
- ・やや不満＋不満 59%

(2)公園に必要とする機能や遊具 ベスト5

- 1位 水遊び場
- 2位 幼児用複合遊具(3歳～6歳)
- 3位 室内遊び場
- 4位 児童用複合遊具(6歳～12歳)
- 5位 ロングスライダー



(3)アンケート結果で「やや不満である」、「不満である」と答えた方の具体的に「不満」と感じていること。(抜粋)

- ・遊べる場所が少ない。全天候型の遊べる場所(施設)があると良いと思う。
- ・大きな遊具があればいいと思う。
- ・公園の数は多いけれど、整備がされてないので子どもが遊ぶには安全といえない。遊具の種類も他の町とかに比べると少ない。
- ・遊具が少なすぎる。全体的に暗く、ピクニックができるような公園があってほしい。きれいなトイレや突然の雨などに休めるような設備も公園にあると小学生くらいの子供達も安心です。冬はそりすべりが楽しめる山があるといい。
- ・きれいで安全な遊び場がないので不満です。広尾町で遊ばせられないので、忠類、更別の公園まで遊ばせに行っています。雨の日でも遊べる所がないのも困っていて、中札内の道の駅のような所があると、うれしいです。

(4)アンケート結果自由記載 公園整備について「要望・意見」(抜粋)

- ・今ある公園はメンテナンスができておらず、危険なものばかりです。きれいな芝とベンチと安全な広場、トイレがあれば良いと思います。
- ・せっかく公園を作るなら、皆が楽しめる様な皆が来てくれるような(子どもに限らず、お年寄りや若者、町外からも)公園を目指してください。
- ・広尾町は天気が悪い日が多いので、(夏もなかなか気温が上がらなかったり、冬は雪が多いなど)天候が悪くても楽しめる公園を望みます。
- ・町内の公園は低年齢向けの遊具が少なく感じます。水遊び場は町内にはない！普通の公園で犬を遊ばせている人をよく見かける。トラブル防止のため、犬専用ドッグランがあるといい。どこの場所もシカ、キツネのフンだらけ。衛生的に心配。
- ・新しく公園を作る事があれば手洗い場、トイレも作ってほしいです。(防犯面含め安心して使えるよう明るく清潔な)土日や保育園が休みの日は忠類や更別の公園等、遠方の公園まで行ってるので町内に同じような広くてたくさんの子供達が安心して遊べる公園ができると嬉しいです。

3-6 公園遊具に関するアンケート

1. アンケートの目的

実際に遊具を使って遊ぶ子どもや遊ばせる保護者等の遊具に対するニーズや好みを把握するため、広尾小学校・豊似小学校の児童及び教員、ひろお保育園・豊似保育所の保育士を対象にアンケートを実施しました。

2. アンケートの実施方法

実際の遊具のカタログ写真を見てもらい、自分が遊びたい遊具や興味のある遊具を選択してもらいました。

*アンケートで使用した遊具（写真）が設置されるものでないことを説明

○アンケートの一例

あそ 遊ぶ 遊びたい遊具についておしえてください！！

おおい 遊ぶ おおい遊具 3才-6才

① 

② 

③ 

あそ 遊ぶ 遊びたい遊具の数字を1つかいてね！

あそ 遊ぶ 遊びたい遊具についておしえてください！！

おおい 遊ぶ おおい遊具 6才-12才

① 

② 

③ 

あそ 遊ぶ 遊びたい遊具の数字を1つかいてね！

あそ 遊ぶ 遊びたい遊具についておしえてください！！

クライミングあそび

① 

② 

③ 

あそ 遊ぶ 遊びたい遊具の数字を1つかいてね！

※アンケート結果は、遊具選定の際の参考とさせていただきます。

3-7 議会・まちづくり推進計画委員会

1. 広尾町議会

新たな公園整備を進めるにあたり、議会に対して主に議員協議会の場において構想案やスケジュール等について説明を行いました。

(1) 議員協議会(令和4年1月31日)

- ・公園づくりに取り組むに至った経緯
- ・想定される整備スケジュール
- ・2つの公園整備候補地の概要説明

(2) 議員協議会(令和4年3月7日)

- ・公園整備に係る候補地の決定

<主な意見>

- ・隣接する民有地を購入する検討は行っているか。
- ・まちづくり推進計画委員会で候補地選定の方向性等は示されたのか。

(3) 議員協議会(令和4年6月7日)

- ・公園整備に係る今後のスケジュール(全体及び令和4年度)

(4) 総務常任委員会所管事務調査(令和4年8月3日)

- ・防災公園整備構想案(たたき台)の内容説明
- ・公園整備に係る令和4年度スケジュール(7月5日変更)

<主な意見>

- ・道の駅構想と公園・観光交流施設との関連は。
- ・トイレは重要なので、利用者に不便をかけないような配置が望ましい。
- ・駐車場は何台車を停められる想定か。
- ・久々の大型事業であり、将来の町のランドデザインをしっかりと描いた上で取り組んでほしい。
- ・隣接するパークゴルフ場との調整は。
- ・公園の面積、見込みの事業費は。

(5) 議員協議会(令和4年8月16日)

- ・防災公園整備構想案(たたき台)の内容説明
※産業常任委員会所属の議員に対して説明(8月3日と同内容)
- ・公園整備アンケートの集計結果報告

(6) 議員協議会(令和4年10月17日)

- ・公園整備構想(原案)の内容説明

<主な意見>

- ・事業費の内訳は。財源の裏付けはあるか。

(7) 議員協議会(令和4年12月6日)

- ・公園整備構想案の内容説明

<主な意見>

- ・トイレは交流施設だけではなく、公園内にも必要なのでは。
- ・観光交流施設についての方向性が変わっている。
- ・日常的な運営に係る維持費の見込みは。

2. 広尾町まちづくり推進計画委員会

新たな公園整備に係る候補地を選定するにあたり、地域住民や産業団体・福祉教育など幅広い分野から選出される「広尾町まちづくり推進計画委員会」に対して説明及び意見交換を行いました。

開催日: 令和4年2月28日

○新たに整備を予定している公園の候補地選定について

- ・公園整備に係る経過説明
- ・2つの公園整備候補地比較の説明

<主な意見>

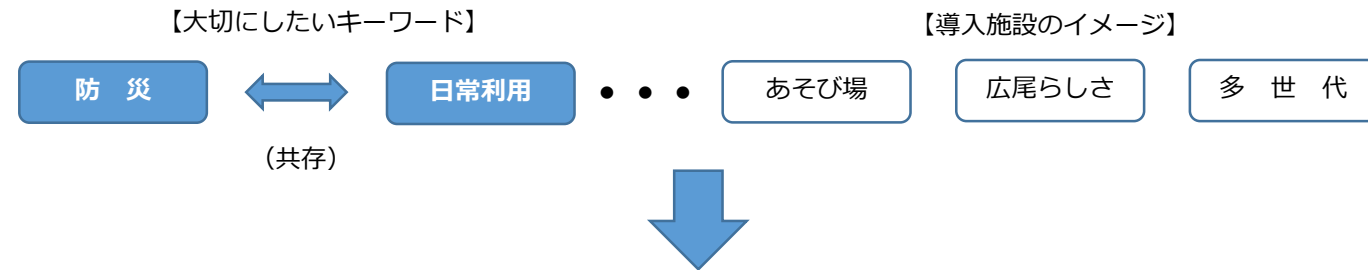
- ・候補地Aは日当たりがよく、場所もわかりやすい。
- ・候補地Aに隣接する民有地を買い取る可能性はあるか。
- ・候補地Bに近接する土砂災害警戒区域に対策工事を行うことは可能か。
- ・候補地Bは土地の形状が四角で使いやすいと思う。

第4章 整備方針・レイアウトの決定

4 整備方針・レイアウトの決定

町民の意見に基づき検討を行い、下記のとおり整備方針をまとめました。

＜整備方針＞



項目	キーワード	具体機能
日常	あそび場	・ 周辺市町村にもないような楽しい屋外遊具 ・ 季節、天候に左右されない屋内施設遊具 ・ 近年流行しているストリートスポーツを楽しめる施設 ⇒スケートボード施設 ⇒3×3コート ⇒ストライダーコース ・ ペット（犬）との憩いの空間としてドッグランを整備
	広尾らしさ	・ サンタのまちであることを内外に示す施設 ⇒イルミネーションツリー、マスコットキャラクターベンチ （⇒公園のお迎え空間に上記施設を整備する） ・ 第一次産業、特に漁業、農業、林業のまちであることを内外に示す施設 ⇒屋内遊具：広尾の木材を活用 ⇒屋外遊具：船や鉄道をモチーフにした施設を導入
	多世代	・ 公園全体を周遊できるような園路を設定し、年齢を問わず行き交える空間に。 ・ 車椅子、ベビーカーを使用しても各施設へ通行可能な空間に。 ・ 休憩施設、見守り施設など誰もが使用できる空間に。
項目	具体機能	
防災	・ 防災倉庫、交流施設と連携し、有事の際は避難場所として活用 ・ かまどベンチ、スクリーンシェルター、スツールトイレなど日常利用しながら防災機能を持った施設を整備 ・ ソーラーパネル搭載の公園灯を整備し、外部電源喪失時にも対応可能に	

＜レイアウト（平面プラン）の考え方について＞

レイアウト（平面プラン）は、3案（A～C案）の長所を併せて最終案を作成する考えとしました。

- | | |
|-------|--|
| ポイント① | A案の「遊具広場と通路の関係性」を採用する。⇒メイン通路から遊んでいる子ども達を見守りしやすいというメリットがある。 |
| ポイント② | C案の「建物を近傍に配置する関係性」を採用する。⇒複数の建物を管理しやすいというメリットがある。 |

第5章 コンセプトとキャッチフレーズ

5 コンセプトとキャッチフレーズ

【コンセプト】

多くの町民に愛される広尾らしい多目的公園

＜大目標＞

- 1. 子育てを応援し、小さい子から高齢者まで誰もが長居したくなる公園
- 2. 広尾らしさや他のまちにはない魅力を備えた公園
- 3. 防災機能を有した公園
- 4. 町民が愛着を持ち、未来に向けて守り育てる公園

＜具体的内容＞

1. 子育てを応援し、小さい子から高齢者まで誰もが長居したくなる公園

- (1) 幼児用・児童用の遊具を充実させることにより、子育て環境の充実を図り、子どもを産み育てやすいまちづくりをめざす。(遊具広場)
- (2) 多世代が交流し、多目的に楽しみ、寛ぎ、心安らぎ、長時間滞在したくなる公園をめざす。
 - ①子育て中の保護者が寛げる場所(ベンチ・四阿・交流施設など)
 - ②幼児や小中高生がスポーツ・レクリエーションを楽しむ場所(幼児:スライダーコース、小中高生:バスケ・スケボー・ボルダリング)
 - ③色々な年代の人が、美しい草木を鑑賞したり、散歩をしたり、犬を遊ばせたりなど、気軽に集い楽しめる場所(緑地広場、パーゴラ、鑑賞木、周遊園路、ドッグラン)

2. 広尾らしさや他のまちにはない魅力を備えた公園

- (1) 広尾町の特徴である、サンタランドや海の町の要素、漁業・農業・林業など第一次産業の魅力などをつめこんだ公園をめざす。(サンタランド:メインエントランス広場など、海:遊具広場、産業:交流施設)
- (2) 高齢者の健康増進機能と若者の運動交流機能の両方を盛り込み、近隣町村にはあまりない広尾らしさにあふれた公園をめざす。(高齢者:健康遊具エリア・周遊園路、若者:ストリートスポーツエリア)

3. 防災機能を有した公園

防災資機材を保管する防災倉庫を建設するほか、様々な防災機能を盛り込み、大災害発生時の拠点となる公園をめざす。(防災広場、ソーラー照明など)

4. 町民が愛着を持ち、未来に向けて守り育てる公園

公園を居心地の良い空間とするため、町民のみんなが愛着を持ち、ルールを守ってきれいに使い、まちぐるみで未来にわたって守り育てていく公園をめざす。

【キャッチフレーズ】

みんなの笑顔があふれる遊び場

理想の公園とは、色々な年代の人（みんな）が日常的に気軽に集まり、色々な楽しみ方ができる場所であり、いくつになっても遊び心を忘れずに楽しく交流する場という意味を込めて「笑顔あふれる遊び場」としました。

＜アンケートや説明会などで町民から出されたキーワード＞

「サンタの住む町」「サンタ公園」「広尾らしい公園」「今までにない公園」「全世代」「年齢関係なく遊べる」「みんなでふれあう」「みんなの居場所」「みんなから愛される」「みんなが子どもになれる」「みんなで昼寝」「ユニバーサル」「安心安全」「ルールを守る」「まちへの愛着を育む」「体を動かせる」「元気な人たちが集まる場所」「夏も冬も楽しく」「自然豊か」「居心地のいい」「落ち着ける」「美しい公園」「気持ちよく過ごせる場所」「笑顔あふれる」「未来の遊び場」

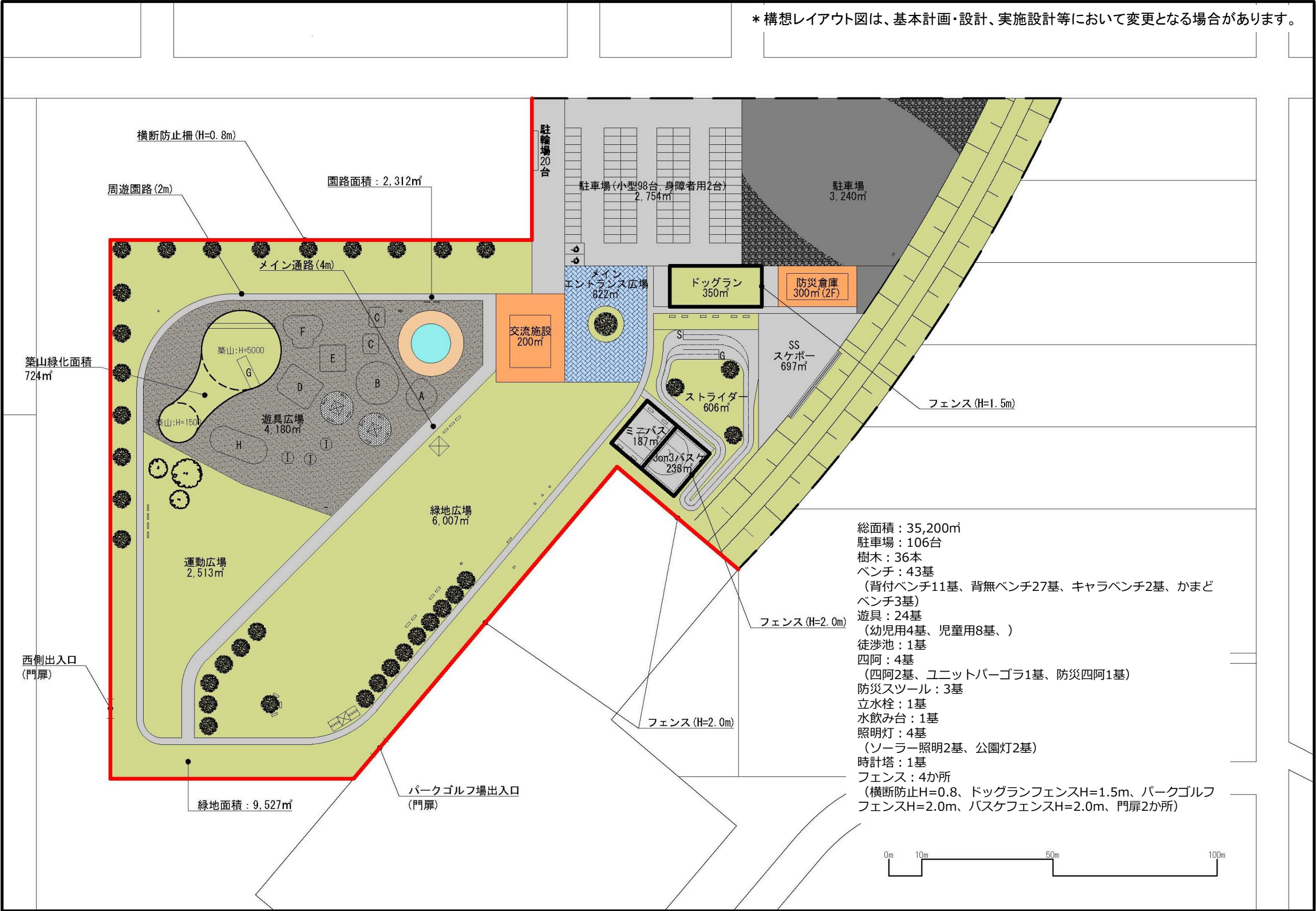


第6章 公園レイアウト

6 公園レイアウト

6-1 全面レイアウト

公園整備構想



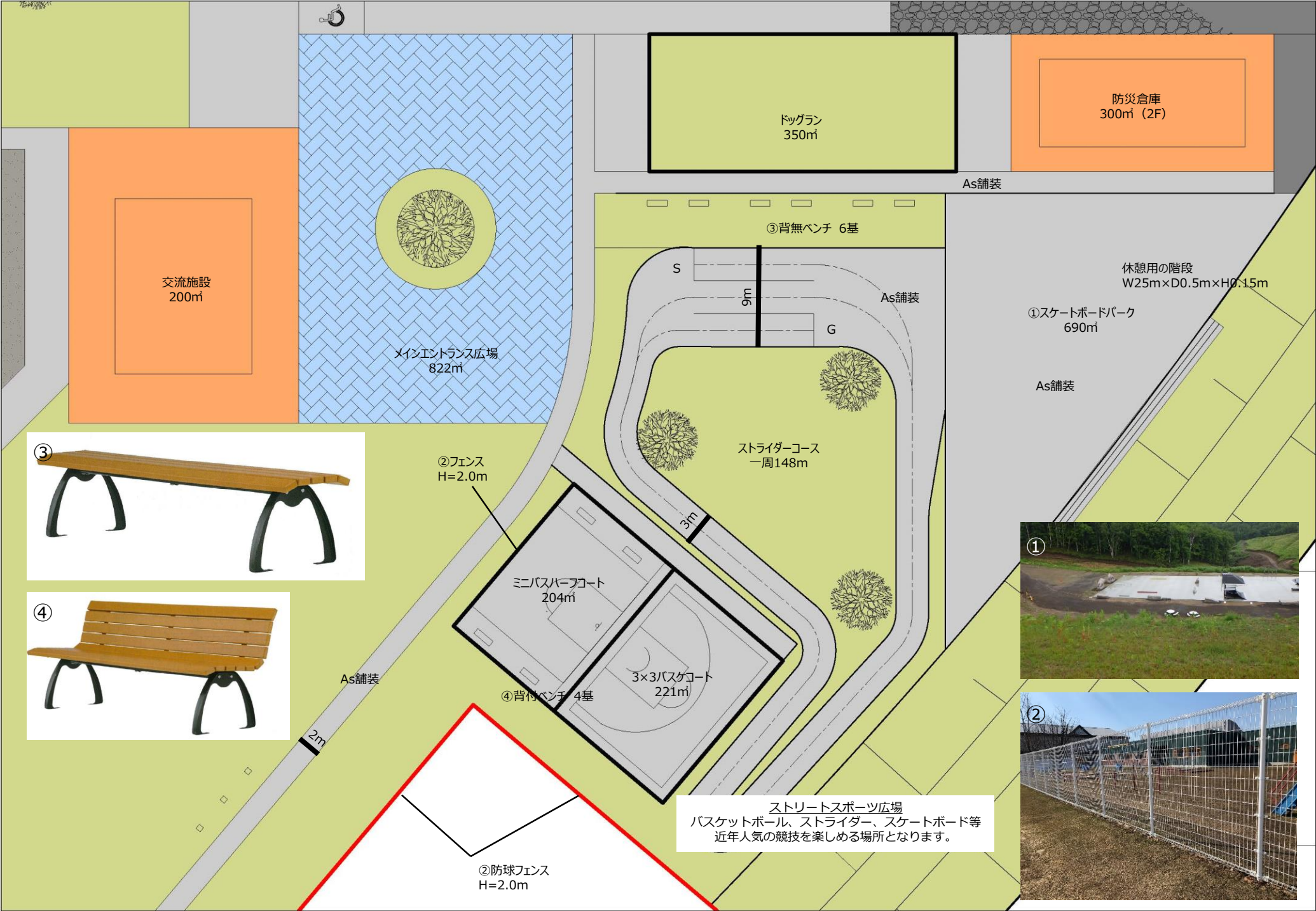
6-2 ゾーン別拡大レイアウト

駐車場拡大図



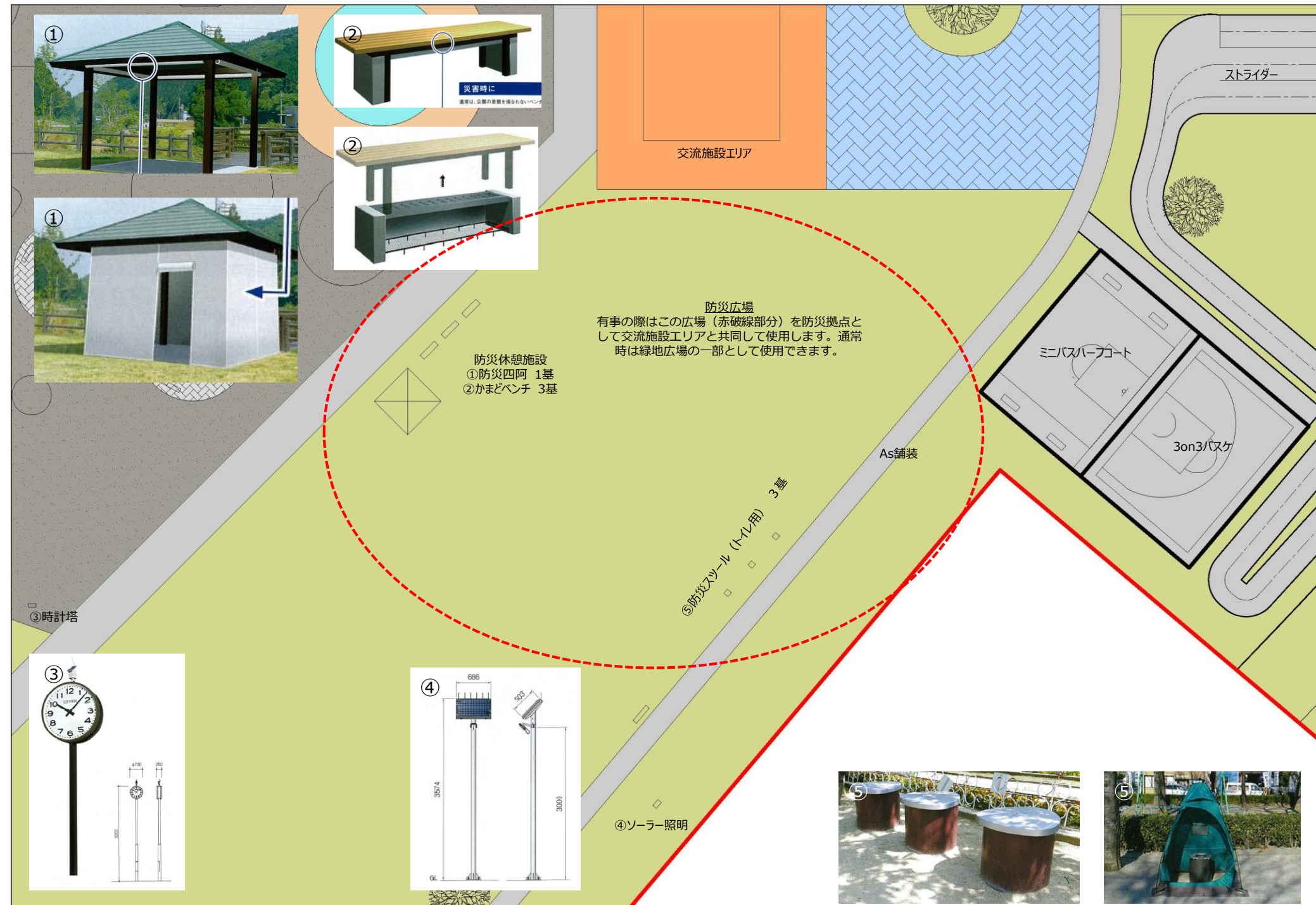
6-2 ゾーン別拡大レイアウト

交流施設周辺拡大図



6-2 ゾーン別拡大レイアウト

防災広場周辺拡大図



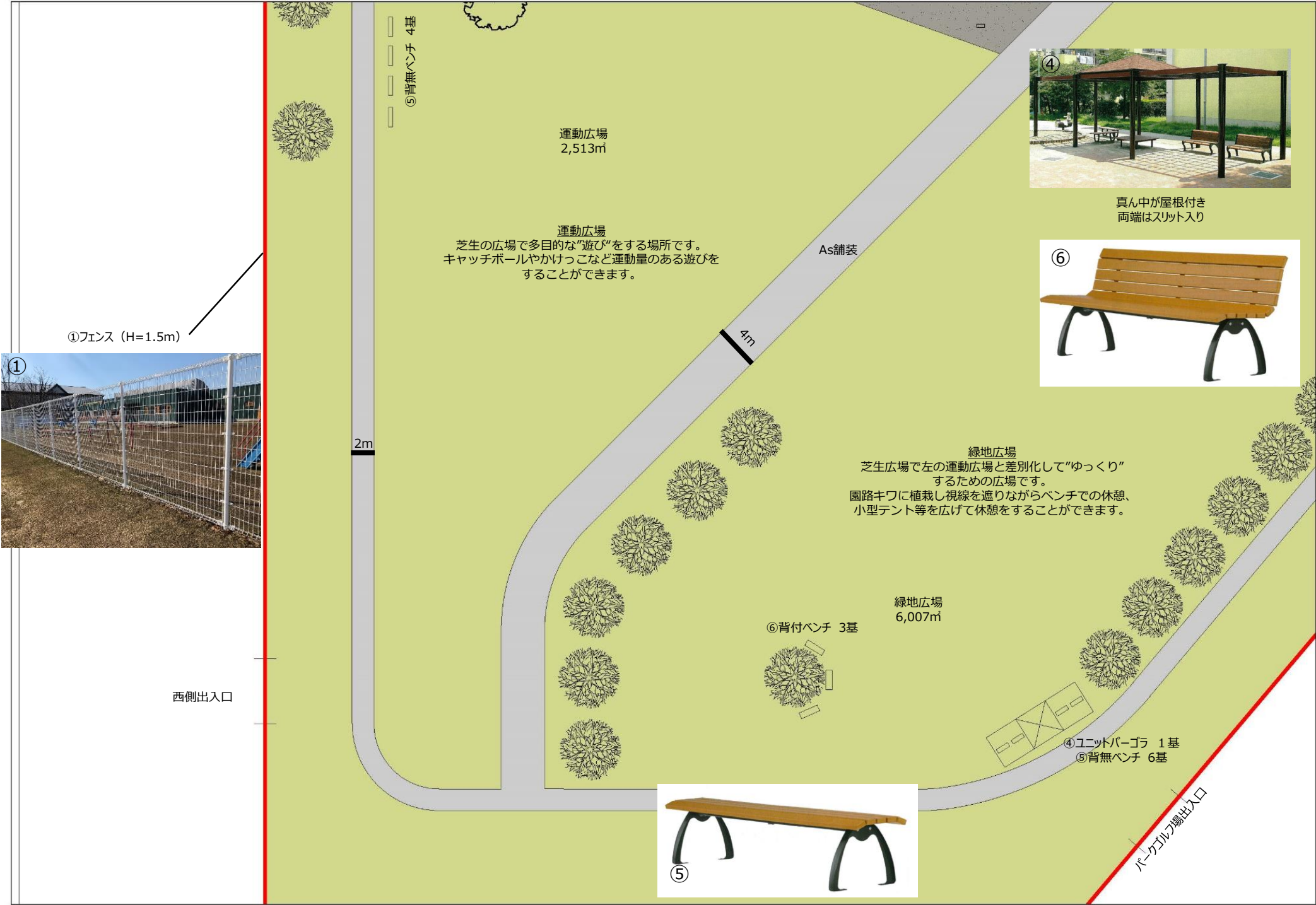
6-2 ゾーン別拡大レイアウト

遊具広場拡大図



6-2 ゾーン別拡大レイアウト

緑地周辺拡大図



6－3 鳥瞰図



第7章 整備スケジュール及び概算事業費

7 整備スケジュール及び概算事業費

事業内容	2022 R4年度	2023 R5年度	2024 R6年度	2025 R7年度	2026 R8年度	2027 R9年度	事業費 計
公園整備	・基本計画 ・基本設計	・実施設計 ・測量・用地買収	・敷地造成 ・給排水整備 ・電気設備 ・植栽	・遊具、水遊び場、ベンチ、 四阿、フェンス、水飲み台 時計塔、照明灯 ・張芝 ・園路、駐車場、エントランス 広場			
(事業費)	6,820	54,547	100,431	333,169			494,967
町民交流施設		・基本計画 ・基本設計	・地質調査 ・実施設計	・建築工事			
(事業費)		4,213	12,283	120,000			136,496
防災倉庫					・地質調査 ・実施設計	・建築工事	
(事業費)					10,800	111,000	121,800
その他						・アンケート調査	
(事業費)						1,000	1,000
年度別事業費計	6,820	58,760	112,714	453,169	10,800	112,000	754,263

< 整備内容 >

公園整備	町民交流施設	防災倉庫	その他
・遊具広場(コンビネーション遊具等、築山、水遊び場) ・運動広場、緑地広場 ・ストリートスポーツ広場(ストライダー、スケボー、バスケ3×3) ・その他(ベンチ、四阿、フェンス、水飲み場、ドッグラン 等)	・トイレ、室内遊技場、交流スペース、エントランス広場	・資機材保管庫	・公園整備アンケート

令和3年11月27日(土) 北海道新聞

町民主体 まちづくり考えて



広尾町の公園整備について意見を出し合った参加者

広尾町「みらい会議」設置

【広尾】町は、町民がまちの課題について考え、解決に向けたアイデアを出し合う場として「まちづくり町民みらい会議」を設置した。本年度は公園作りがテーマで、24日に1回目の会議を開いた。町は防災機能を兼ねた公園の新設を検討しており、会議で出てきた意見は今後の公園整備の参考にすることを考えた。（金台育生）

町は会議を設置する理由として、町が掲げる「人口減や高齢化」「町民参加のまちづくり」で町内会の活動継続が危ぶまれている。幅広の世代、職業の町民に参加してもらうことで、

無作為に案内文書 本年度は公園作りテーマ

おと、無作為に選んだ千人に案内文書を送り、20〜70歳のメンバー20人を選んだ。話し合うテーマは1年ごとに変わる予定で、参加メンバーもテーマごとに募集する。

公園整備は町民アンケートなどで、「子どもの遊ぶ公園が少ない」「きれいで遊具の充実した公園が必要」という意見が多かった。町は防災用資機材の保管場所などを兼ねた公園の整備を検討しており、早ければ22年度に基本構想を作成、24年度に着工を想定。公園に将来、特産品販売など「道の駅」の機能を併設することも検討していく。

24日に町コミュニティセンターで開いた会議で、参加者は3グループに分かれ、理想の公園像などを話し合った。清潔なトイレやキャンプのできるスペース確保が必要といった意見のほか、「現状の公園はベンチなど座る場所が少なく、気軽に足を運ぶにくい」といった指摘や、「散策路などを整備し、既存の公園を有効活用した方がよい」といった意見も出ていた。

町は第2回の会議を来年2月に開き、さらに議論を深めてもらうことにしている。

2021年(令和3年)11月27日(土曜日)

地域

(第3種郵便物認可)

十勝

広尾に防災公園整備へ

理想の公園づくりについて議論した町民みらい会議

道の駅併設も模索

町、住民参加で計画づくり



【広尾】町は、子育て支援と防災機能を備えた「ひろ防災公園（仮称）」の計画づくりに着手した。道の駅など観光交流施設の併設についても可能性を模索する。今年度は町民参加のワークショップ「まちづくり町民みらい会議」で意見を集約。来年度に基本構想と基本設計の作成を予定している。

2019年2月に実施した町民アンケートで、子育て世帯を中心に住民が憩う公園の不備が指摘され、第6次まちづくり推進総合計画に盛り込んだ。

①多世代が集う公園②子どもが伸び伸び楽しむ公園③災害時の防災機能（防災保管庫、一時集合場所）の導入などが公園のコンセプト。

町有地での整備を想定。緑地（2.5ヘクタール）、駐車場（2000平方メートル）、園内通路、あずまや、ベンチ、遊具、噴水、トイレ、防災倉庫のほか、マンホールトイレの配備を検討している。

総事業費は約4億7000万円。順調に進めば23年度に実施設計に入り、24年度以降に着工する。

総合計画には観光交流施設の整備も盛り込んでおり、同施設を併設し公園機能を高めることも検討。観光交流施設は地元食の特産品、サンタランドなどの魅力を発信する拠点で、高規格幹線道路の広尾延伸を

視野に「道の駅」機能も想定している。

村瀬優町長は「人口減の下、町をどう活性化させるのかは大きな課題。計画段階から住民の意見を集約し、公園整備に反映したい」と述べている。

「大きな滑り台を」第1回会議で意見

まちづくり町民みらい会議の第1回会議が24日に町コミセンで開かれ、「みんなが楽しめる公園づくり」をテーマに議論した。

同会議は20人で構成。初回は16人が参加し、村瀬町長、田中靖章副町長、菅原康博教育長も視察した。

コンサルタント会社から多目的公園の事例について説明を受けた後、3班に分かれてディスカッション。

「町外の人々が好んで訪れるような公園に」「大きな滑り台がほしい」などの意見が出ていた。

（能勢雄太郎）

令和4年3月9日(水) 山勝毎日新聞

24年度着工の防災公園 鉄道公園隣接地に決定

広尾

【広尾】広尾町は「防災公園（仮称）」の整備候補地として、鉄道記念公園隣接地（旧広尾駅北側）の4・4畝に決定した。同敷地はサンタランド（大丸山森林公園）の導入部に位置し、

学校や保育園が徒歩圏内にある。新年度に基本計画と基本設計を行う。防災公園は避難所と子育て支援の機能を兼ねた新しい公園。道の駅の併設も視野に入れる。想定事業費は約4億7000万円。23年度に実施設計、24年度の着工を予定している。

町は候補地として鉄道記念公園隣接地と旧町立病院・旧自動車学校跡地（3・8畝）の2案を提示。住民ワークショップなどの意見を聞き、最終決定した。鉄道記念公園隣接地は旧広尾駅に隣接する1・6畝の公園（パークゴルフ場）と、昨年12月に町民から寄付を受けた2・8畝で構成。非整形地のため隣接する民有地の取得も検討する。（能勢雄太郎）

令和4年2月23日(水) 山勝毎日新聞

町公園 候補地2カ所に 今年度中決定

鉄道公園隣地
旧町立病院跡

【広尾】広尾町は「防災

工を予定している。

公園（仮称）」の整備候補地として、鉄道記念公園隣接地（旧広尾駅北側）と旧町立病院・旧自動車学校跡地の2カ所に絞った。議会や住民意見を集約し、今年度中に2案の中から整備予定地を決定する。

候補地の2案は、21日の「まちづくり町民みらい会議」で提示した。同会議はワークショップ形式で公園のキャッチフレーズなどを議論した。

防災公園は、災害時の避難所機能と子育て支援を兼ね備えた新しい公園をイメージ。道の駅などの併設も視野に入れている。想定事業費は約4億7000万円。2022年度に基本計画と基本設計、23年度に実施設計を行い、24年度の着

工を予定している。候補地の2案は、21日の「まちづくり町民みらい会議」で提示した。同会議はワークショップ形式で公園のキャッチフレーズなどを議論した。鉄道記念公園隣接地は約4・4畝の町有地。旧広尾駅に隣接する1・6畝の公園（パークゴルフ場）と、昨年12月に町民から寄付を受けた2・8畝で構成する。大丸山森林公園（サンタランド）への導入部に位置している。

旧町立病院・旧自動車学校跡地は堆雪場として使用

している。町側は住民ワークショップ、町議会、総計策定委員の意見を反映、国道とのアク

で土地利用上の自由度は高

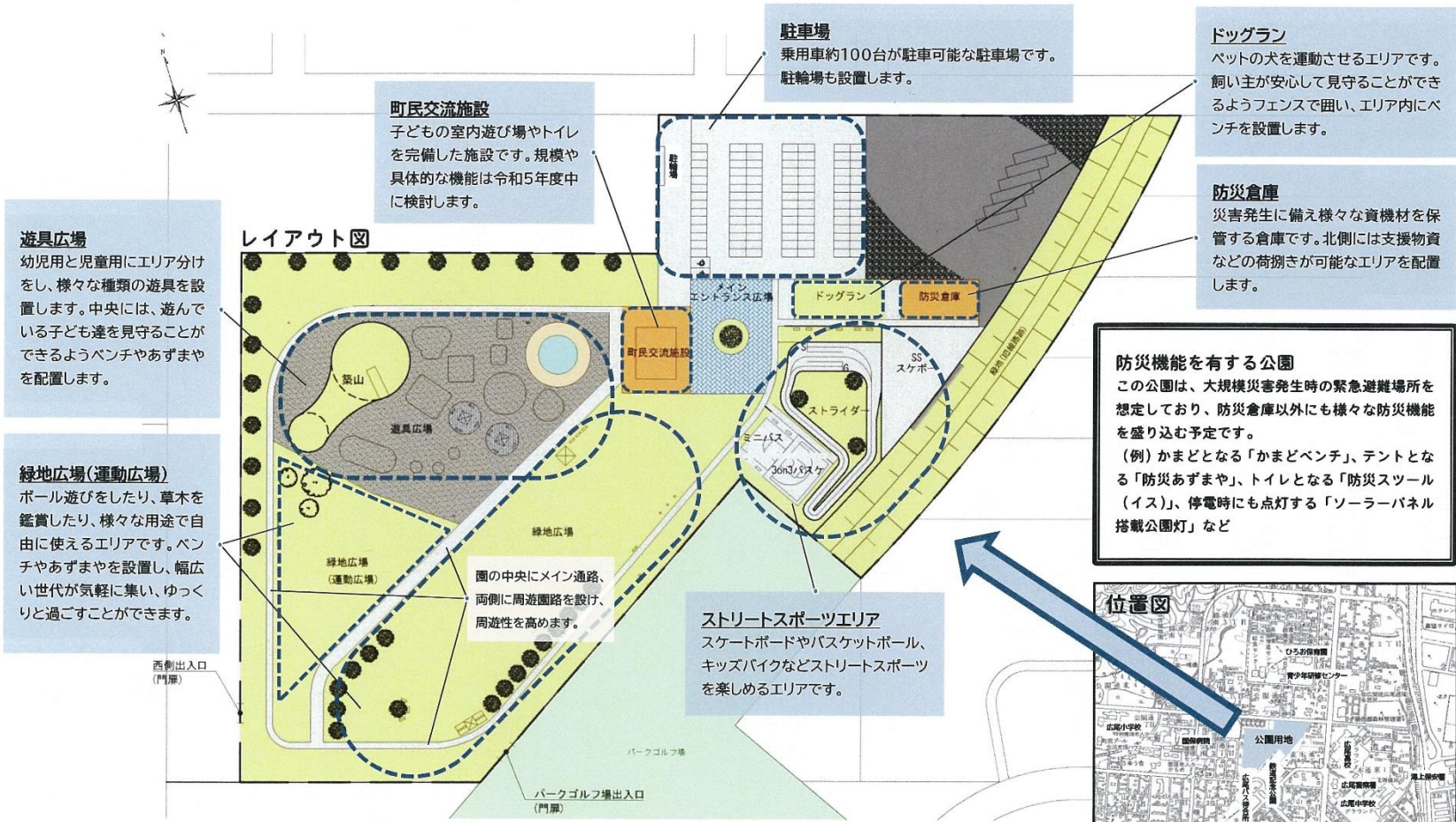
い。町側は住民ワークショップ、町議会、総計策定委員の意見を反映、国道とのアク

セスや高齢者・子育て世帯の利便性などを勘案して整備予定地を選定する。（能勢雄太郎）

令和4年3月12日(土) 北海道新聞

広報ひろお 令和5年(2023)年3月号

新たな公園構想「みんなの笑顔があふれる遊び場」レイアウト図



(注)このレイアウトは、実施設計の段階で変更となる可能性があります。

【お問い合わせ・ご意見】企画課 ☎2-0184 メール k-kikaku@town.hiroo.lg.jp
建設水道課 ☎2-0173 メール k-doboku@town.hiroo.lg.jp

広尾・防災公園の整備場所
鉄道公園隣接地に

【広尾】町は、新設を計画する防災公園の整備場所を、旧国鉄広尾駅そばの鉄道記念公園隣接地に決めた。



防災公園の整備場所に決めた鉄道記念公園隣接地

た。2022年度から設計を行い、24年度着工、25年度以降の完成を目指す。防災公園はベンチや遊具などを置くほか、災害時の資機材などを保管する倉庫を設置する。町は町有地の同公園隣接地(4万4千平方メートル)と旧町立病院・自動車学校跡地(3万8千平方メートル)を候補地とし、職員でつくる検討委員会や町民が参加した「まちづくり町民みらい会議」などで意見を聞いた。町は、鉄道記念公園隣接

地は住宅地や公共施設に近く、大丸山森林公園サンタランドや国道からのアクセスも良いことから整備場所に決めたという。防災公園には町民以外の利用も想定した観光交流施設の併設を予定しているほか、帯広・広尾自動車道の全線開通に向けた手続きが始まったことも踏まえ、将来の道の駅

化も検討する。(金谷育生)

公園整備検討委員会設置規程

令和4年1月20日
訓令第1号

(目的)
第1条 第6次広尾町まちづくり推進総合計画に登載された新たな公園整備に加え、既存の公園・緑地を含めた広尾町全体の公園機能や管理のあり方について分野を横断して幅広く検討・協議することを目的として、公園整備検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置する。

(役割)
第2条 検討委員会は、次の事項について検討及び協議を行い、その結果を庁議に付議し、又は報告する。
(1)新たな公園整備に係る基本的事項（整備場所、施設及び設備の機能、施設の配置など）に関すること。
(2)町内の公園・緑地の機能や管理のあり方に関すること。

(組織)
第3条 検討委員会の委員は、職員のうちから町長が指名する。
2 検討委員会は、15人以内をもって組織する。
3 検討委員会に委員長及び副委員長を各1名置き、委員長は委員の互選により選出し、副委員長は委員長が指名する。
4 委員の任期は、所期の目的が達成されるまでとする。

(会議)
第4条 検討委員会の会議は、委員長が招集し、会議を進行する。

(関係者の出席)
第5条 検討委員会は、検討のため必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(事務局)
第6条 検討委員会の事務は、企画課企画防災係において処理する。

附 則
この訓令は、令和4年1月20日から施行する。

公園整備検討委員会 委員名簿

令和5年2月1日現在

	所 属	役 職	氏 名
1	総務課	課長	山岸 直宏
2	住民課	課長	楠本 直美
3	保健福祉課	課長	宝泉 大
4	子育て支援室 児童係	係長	須田 麻衣
5	認定こども園ひろお保育園	副園長	佐々木 みゆき
6	地域包括支援センター 在宅支援係	係長	佐藤 寛光
7	健康管理センター 保健推進係	係長	杉山 絹子
8	水産商工観光課 商工観光係	係長	山田 雅樹
9	建設水道課	課長	寺井 真
10	建設水道課 土木係	課長補佐(兼土木係長)	三上 昌樹
11	教育委員会管理課	課長	山畑 裕貴
12	教育委員会社会教育課 社会教育係	係長	古関 直人

※ その他必要に応じて関係職員の出席を求めることができる。（設置規程第5条）

○委員長 三上 昌樹
○副委員長 山田 雅樹

【事務局】

	所 属	役 職	氏 名
1	企画課	課長	及川 隆之
2	企画課 企画防災係	課長補佐	鎌田 慎
3	企画課 企画防災係	主査	柏崎 有哉
4	企画課 企画防災係	主任	横山 幸大
5	企画課 企画防災係	主事	角井 結香